

---

## Igreja de São Clemente, matriz de Loulé

---

### について

ロウレの教区教会、サン・クレメンテ (São Clemente) 教会

もともとは13世紀に建てられたゴシック様式の教会ですが、16世紀に修復が行われています。

主な見所は、尖頭アーチになったファサードの入り口やゴシック様式の側方の入り口です。イスラム教寺院の尖塔を取り入れた鐘楼には、バロック様式の装飾が施されています。また、塔の中の扉の隣には、起源のわかっていない古代の円柱があります。

3つの身廊を備えた教会内部には、葉の模様が彫り込まれた柱頭があります。これらの彫刻は、イスラムの芸術家によって施されたものとも考えられています。また、高さの異なる円柱は、ローマまたはアラブの材料から作られたと考えられています。主祭壇では、金箔を貼った18世紀の木造アルターピースやこれと同時代の彫像を見ることができます。

### 問い合わせ先

Largo da Matriz

---